



咪咪

FOR ADULT ONLY

紫愛

the

どる本 2

というタイトルにしたからって、本当。



紫から相談なんて
珍しいわね
どうしたの？



...

なにもしないわ
さっさと
さっさと



そ...
そうかしら？



何か幻想郷で
問題でも
あった？

ん...
個人的にちょっと
幽々に
聞きたいことがあって...

白玉楼にて...



ね！
幽々子！
どうすればいいのかしら！

落ち着いて、
落ち着いてったら
紫！

わたしにだってそんな経験
あるわけがないのに
どうして聞くのかしら…

ご、ごめんね
幽々子……
取り乱しちやっただわ

ふう…いいわよ

でも、紫
本当に変わったわね
以前はそんな話
カケラも
でなかったのに。

ど、どんな感じに
愛されてたの？

参考までに
聞きたいのだけど…

ええ…

そうね…

たとえば
こんなことも
されたかしら

わたしが寝ているときに
襲ってきたことも
あったわねえ…

寝ているときこっ…

ただ、とても
彼が楽しそうだったものだから
寝つつけてみたわ

ええ、
さすがにわたしも
それなりの妖怪よ？
気づいたわ

キスから始まって…



彼っすごく
おっぱいが好きで
すぐに揉みだしたわ
その手つきがよ
すごく優しいのよ

あ...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

それだけに
揉むだけじゃなくて
乳首もね、
忘れないの

ん...

あ...

ん...

わたしの気持ちいい場所
全部わかってるのよ
いちっつてくるのよ

ん...

あ...

ん...

ん...



お乳なんて出ないのに
 必死に吸うのが可愛いの。
 あと彼もそのつもりなのか
 胸だけで達しそうに
 なるんだけど
 わいつも途中で止めて
 たしを焦らすのよ

十分楽しんだあとは
おちんほが：

おっぱいを犯すのよ

おっぱいに
ゆっくり…ゆっくり
挿入してくるの

彼のおちんほは
すごく熱くて：
それに
私が咬みたいの
我慢してるのに

彼はわたしを
起こすつもりでやってる
としか思えないくらい
激しく犯すの：
ほんと憎らしい

乳首に擦り付けたりして
おちんほのびくびくが
すごく伝わってね
どんどん熱くなつて
勃ってきちゃうのよ

おちんぼが
びくびくしてきて
あ、射精するんだって
おっぱいを通して
伝わってくるの

そう思ったときには
顔に思い切り射精されてね
すっごいどろどろの精子が
わたしの顔にびゆくびゆく
かかるのよ？
もう…我慢するのも一苦労

すごく興奮したのかしら。
いつもより量も多くて
匂いもきつくて
口の中に入ってきた精液だけで
濃いのがわかったわ

…ここで起きて
びっくりさせようかしら？
それとも黙ってようかしらと
考えていたんだけど

彼、
まだ満足してなかった
みたいで…まあ一度の
射精で終わるわけが
ないのだからね

射精したりないって
おちんぼをおっぱいに
押し付けるのよ
そうしたら
すぐに元の硬さに
戻っていたわね…

どうするのかしらって
思っていたら
唇におちんぼが触れたわ
すごく熱くて
今にも射精しそうなくらい



そんなおちんぼ
押し付けられたら
我慢できなくて
つい舌でなめちゃったら
もうダメね。
舌が止まらないのよね。
我慢していたから
おいしさが段違いよ？



早くしゃぶりたいのに
彼わたしが
起きていることに
気づいたのでしようね
焦らしながら
口に出し入れするのよ



散々しらされて
もう耐えられなかつたわ
結局自分からおちんぼに
しゃぶりついちゃったの



もうそれからは
すこかったわ
お構いなしたの
口の中を犯した
おまんこみたい
喉奥までおちい
突き入れてねほ
むせ返りそうに
それが気持ちよ
なってくるのよ



喉奥までつつこまれて
射精された時は
本当に苦しかったわ
2度目とは思えないくらい
量も多くて熱い精子が
びしゃびしゃ叩きつけられて
気持ちいいのよ、これが…



飲んででも飲んででも
精液が口の中に溢れて
子宮がうずいちちゃって
わたしもイっちゃったわ



ふは…っ





けほっ…けほっ
あなたのおちんぼ
大好きだ…けど
もう少し…優しくして
ほしいかしら。もう
一回…ね？

ほら…と…



まあ…
こんなことも
あったりしたわ

中々…すごいね
あなたの彼。
仮にも大妖怪、八雲紫
にそんなことできるなんて

彼、わたしのこと女としか
思っていないんじゃないかしら？
そこがいいのよ
他にも…もつとあるわよ



ん...ちゅ...



はあ…

はあ…



ふああ…っんっ

あ…っ
精液きもひ…イイ♪

彼…
射…
精…
する…
の…
隙…
奥…
で…
ビ…
ュー…
っ…
て…
私…
も…
ね…
、
隙…
内…
に…
精…
液…
を…
感…
じ…
な…
い…
と…
寂…
し…
い…
か…
ら…
…
っ…
つ…
い…
、
せ…
が…
ん…
じ…
ゃ…
う…
ん…
だ…
け…
ど…


ん…っ…はあ…っ
愛…し…合…う…っ…て…
気…持…ち…よ…す…ぎ…
…ん…っ
あ…っ…
…精…液…
あ…ふ…れ…ち…や…
ん…あ…
…っ…



ま…
だ…
い…
っ…
た…
ば…
っ…
か…
り…
っ…
ん…
っ…
…
あ…
あ…
っ…
!

あ…っ
ん…あ…
…!

ち…ん…
…
や…っ
ち…
よ…
っ…
と…
待…
っ…
て…
!



彼、一度じゃ
絶対止まらなくてね
精液を押し出しながら
お構いなしに
おまんこに入ってくるの

あっ…んあ…あっ
もお…あなたのおちんぼ
元氣すぎ…よお…

いきなり…そんな
子宮まで
突っ込まれたからあ…
イ…つちやっつた
じゃな…い

やっ…あつ
すご…つ
激し…つああつ
あ…んああつ
もっ…らめえ…んあつ

あ…んあつ
も…ちよつと
ゆっくりしてえ…
あ…んああつ

そうそう。
彼つて子宮を直接犯すのも
好きなの。
おちんぼでぐりぐり
子宮口いちめられるとね
勝手に開いちゃうの。
受け入れてしまうの。
それがまた…
すごく気持ちよくて

奥…ゴリゴリ
してえ…あつ
ん…つ
あ…つ
ひきゆうつ
ひらいちや…つ
ふあつ…あつ…

あつ…あつ
やっ…らめえつ
そんな子宮ばかりつ
攻めないでえ…つ



そんな：なっ 足広げたら
見えちゃう：っ
おちんぼが入ってる
とこ見られひや：あっ
んああああ

んあっ
あっ：あっ：っ
気持ち：っ
ああ：んっ

あっ：やっ
気持ちよすぎ：っ
おまんこもっど
突き上げて
イ：きそ：っ
あっ：あ：っ！



あな…ひやも
きも…いいんあ
わたりもよあっ
もうらめいひいっ
きもち…いひいっ

私も途中からいつも
気をやっちゃって…
ほんと…人間とは
思えないくらい
激しいの

あ…やあ…
こんな顔…みない…れえ！
きも…よしゆぎてえ…
ん…つあ…ふっ…んああ♪



や…っんあ…
精液びゆるびゆる
とびでちや…てるっ

ひあ…んっ
受精できなく
なっひや…っ
んああ…っあっ



だいしゆきだから…っ
だからっ
あなたの子供ほし…っ
あつんあつ

好き…っ
あなたが…っ
だいしゆきなのお…っ

おっぱいを揉む手も
わた…ひを
突き上げてる
おちんぽもっ

射精しっつ
動いたらめえ…!!
またあふれ…ひゃあんっ

やあっん…あっ
またあ♪
びゆるびゆる射精してっ
イクっ…っ
イツちや…あっああっ!

注下では掻き出されて
も何度目かわからな
くらゐ子宮に目んっ
注ぎ込まれるの
気がやっちやうのも
わかるでしよ?



あっ…ん…あっ

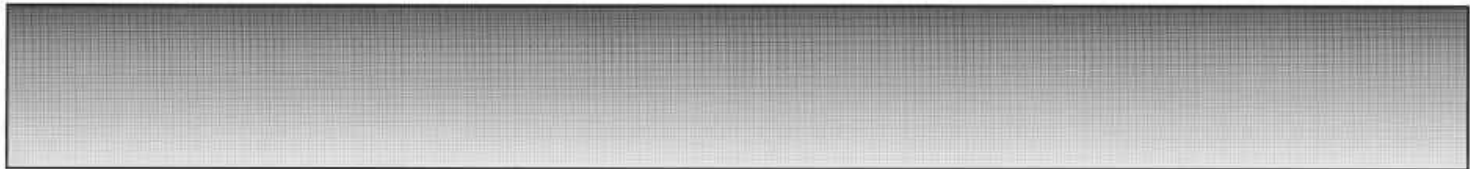
んっ



んあ…おちんほ
まだびゆるびゆるって…
精液
はきだしてる…ん♪

やん…そんな
臆内かき混ぜてえ…
おちんほまだ硬いまま…
…もつと…?

激しいだけじゃなくで
ちやんと優しいのね
日たまたまの
何度でもしたいから



話してみたら

結構
愛されてるわね
結構私ってば
結構張りね
結構かしらね



ああして、こうして…
すご…紫…すごいわ…
って！

幽々子？



紫、あなた…
これで愛されていないとか
言ったらダメじゃないか
十分過ぎると思うわよ。

そ、そうかしら？

もう…



ねえ紫。
わたしもその彼
気になつてきたわ。
会わしてくれない？
いい思いさせてあげるから

え！

ハハハ



けど、羨ましいわねえ
わたしも誰かいないかしら…
そんな風に愛してくれる人。



幽々子の
おっぱいなんて
見せられたら
彼…
手をだしそうよね
大丈夫…とは
いきれないわ…



ちょっと
本当にしないでよ…！

うふふ
どうかしらねえ

…end..



あら…あら…
すごそう…

うわ、めっさやる気
だしてやがる！

「表紙のボク」

当初はドレスを着せていたのですが…
服の影がね。
ぜんぜんわからなくて挫折orz
1日塗ってさっぱりだったので、
現在の表紙とあいになりました。

フリルは楽しいんですけども。。。。

09年の冬コミにて
チラシを配ったんですね。下のような。
次回はけーね本です！って書いてありました。
結果として、けーね本は出ず、紫本になっていたわけで。

それをスティックカムにて零点さんにいちられまして
じゃあ、(ゲストさんだけで)けーね本！ということで、
締切り間近に怒涛のごとく依頼をした結果が
次のページからはじまります。

これで、
「あれ、例大祭けーね本じゃなかったんですか？」
「(ゲストだけ)けーね本です！」
という答えが返せるように。

以下ゲスト様のお名前とPixivIDです。

| | |
|---------|----------|
| 零点さん | [27436] |
| ろぎーさん | [33875] |
| 十野 弥生さん | [576165] |
| サエモンさん | [217257] |
| 元十郎さん | [3539] |
| しばてんこさん | [423200] |

ゲスト
10-31







Handwritten signature

「ほ、本当にこんなのが気持ち良いのか？」

「ええ。あなたもそのおっぱいで感じてみるよじやうっ。」

「おっぱいのなかでおちんちんがびくびくして脈打ってるのが」

「そんな説明しなくていいっ
は、恥ずかしいだろっ」

「ほらっ、もっとこう
擦り合わせるようにしてあげないと…」


「やっ、ちょ
は、はずか…」

「そう言っつて、ちんぽに乳首を
ひっしに擦り合わせちゃって…かわいいっ♡」

「ち、ちがっ これは紫がこうすれば
喜ぶって教えたから…
あぁっ、もう…恥ずかしいすぎる…」







けーね先生!
俺だ!
おっばい
吸わせてくれ!!

お誘いいただき
ありがとうございましたッ

2010.03
元十郎

TOHO Project FANBOOK



Presented by Kagitsuki